

会 議 録

会議の名称	第12回総合計画及び地域創生戦略委員会	
開催日時	令和3年9月2日（木）14時00分～16時00分	
開催場所	宍粟市役所本庁舎402・403会議室 自宅等（WEB参加）	
議長（委員長・会長）氏名	林 昌彦	
委員氏名	（出席者） 林 昌彦、山田 寛、小林由佳子、春名文子、東 里司、田中一成、西山大作、坂本幸子、本條 昇、久野洋貴、岡本一也、村上晃宏、山國和志	（欠席者） 大坪津義、秋山裕美、谷口朱美、宮辻弘学、西川彩児、高橋美佐子
事務局氏名	市長公室：谷本次長 市長公室地域創生課：西嶋課長、清水係長、前田係長、白畑主査、田 淵主事	
傍聴人数	傍聴者なし	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決定事項	<p>（協議事項）</p> <p>（1）前回結果のフィードバックについて 【資料①-1、①-2、①-3、①-4、①-5、①-6、①-7、①-8、①-9】</p> <p>（2）人口ビジョンについて ・宍粟市人口ビジョンの改定について【資料②-1】</p> <p>（3）後期基本計画・第2次戦略案について ・第2次宍粟市総合計画後期基本計画・第2次宍粟市地域創生総合戦略案の概要【資料③-1】 ・第2次宍粟市総合計画後期基本計画・第2次宍粟市地域創生総合戦略案【資料③-2】 ・後期基本計画・第2次戦略のまちづくり指標【資料③-3】</p> <p>（4）答申案について ・第2次宍粟市総合計画後期基本計画及び第2次地域創生総合戦略の策定について（答申）【資料④-1】</p> <p>（その他） 第13回宍粟市総合計画及び地域創生戦略委員会の開催日について</p>	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	
議事録の確認	（委員長等） ____ 委員長 林 昌彦 ____	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
委員長	<p>■開会</p> <p>今日の協議項目には答申案が含まれており、これまでの11回の議論を経て一定の結論を得ることとなりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>■協議事項</p> <p>(1) 前回結果のフィードバックについて (前回委員会等での意見・提案に対する回答について資料①-1に基づき説明、計画素案の修正について資料①-2、①-3、①-4、①-5、①-6、①-7、①-8、①-9に基づき説明)</p>
委員	<p>生涯活躍社会の実現をめざす企業のインセンティブになるようなことが、どこかに記載されているのでしょうか。企業の社員教育だけでなく、考え方も含まれてくるところかもしれません。</p>
委員長	<p>資料③-2の32ページにある雇用の創出と就職支援という項目がその一環だと思います。また、39ページの基本構想部分に生涯活躍社会の実現という項目が入っていますが、ここに書き加えるのも手だと思います。</p>
委員	<p>39ページの基本構想部分である生涯活躍社会の実現のところ、もう少し範囲を広げていただけるといいと思います。</p>
委員	<p>ホームページの翻訳について5か国語(英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語)とあります。市内に住んでいる人、訪れる人では英語、中国語、韓国語のほか、ベトナム語、タイ語が多いと思います。特に兵庫、大阪ではベトナムの方が多く、そのあたりも検討したらよいと思います。</p>
委員長	<p>この5か国語になっているのは、何か事情があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在利用しているシステムのサービスで決まっているものですが、今後注視したいと思います。</p> <p>(2) 人口ビジョンについて (宍粟市人口ビジョンの改定について資料②-1に基づき説明)</p>

<p>委員長</p>	<p>人口の見通しを立てるといことですが、どんな仮定を置くかで変わるため、どれが正しいという議論はあまり意味がありません。どう取り組んでいくか、考え方を整理するのが大切だと思います。資料の最初で当初計画より下振れしている厳しい現実があり、人口ビジョンを改定することが述べられています。これまでの5～6年間で新たな問題に取り組み、全く効果が出ていないということでもありません。それを今住んでいる方々のより良い生活に結び付けていくことがポイントだと思います。目標として示された21,000人は、国の平均的な減少幅よりも厳しい見通しに立ちつつ、人口を増やす施策による一定の効果を加味した数値です。それが正しいかはわかりませんが、厳しい現実を目を背けてはいけないと思います。一定の効果が見られていることに希望を見出した数値を目標として取り組んでいくということだと思いました。</p>
<p>副委員長</p>	<p>楽観的な見通しではなく、厳しい現実を見つめた中での見通しにより、現実を受け入れながら、宍粟市民の豊かさを高める施策を議論すべきと思います。21,000人が良いかはわかりませんが、後期基本計画、総合戦略を市民が理解した上で進めていくべきだと思います。全般的な考え方に異論はありません。</p>
<p>委員</p>	<p>答えがあるものではないと思います。注目したいのは、40年先よりも20年先の数字に近づけていくことです。宍粟市が自治体として存続できる人口はどれくらいが限界か、シミュレーションする必要があるのではないのでしょうか。行財政やインフラ、社会福祉、自治会活動など、どれくらいの人口があれば自治体として存続できるのか、想定が必要だと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>そのようなシミュレーションはおそらく国でもできていないと思います。どのくらいの規模であれば、財源を確保し、市民の豊かなまちづくりのために投資できるか、希望される方が結婚、出産できるようにするなど好循環を生み出していけるかなど、シミュレーションはできていません。今後検討していくことが必要だと考えます。</p>
<p>委員</p>	<p>人口は行政が旗を振っても増えるものではなく、民間企業が活力を持って働くことができ、生活できる環境をつくっていくことが必要だと思います。目標値は厳しめを想定し、上振れする分には修正しやすいので、きつめのシナリオを書くのが良いと思います。宍粟市で働く人、住んでいるみんなが力を合わせてやっていくことが必要だと思います。</p>

委員長	21,000 人よりも厳しめにした方が良いということでしょうか。5 ページの推計で楽観的にみているところがありますか。
事務局	細かく積み上げて目標人口を出しているわけではありませんが、社人研推計の下振れをもとに、委員からも意見をいただいております人口減少の厳しい現状を受け入れることを踏まえた提案としています。
委員長	主観的に甘く見ているところはないということでした。5 年後には見直ししなければいけないと思います。今回は厳しく見た 21,000 人とご理解いただければと思います。ほかにご意見がなければ、21,000 人を目標にして原案については了解したこととします。
	<p>(3) 後期基本計画・第 2 次戦略案について (後期基本計画・第 2 次戦略案の概要について資料③-1、③-2、③-3 に基づき説明)</p>
委員長	委員意見を踏まえつつ、その後、加筆・修正したところを説明してもらいました。先ほどのご意見から生涯活躍社会の実現については書き改めますが、それ以外のところを含め、お気づきの点があればお願いします。
委員長	指標はこれで完成ですか。検討中は残っていませんか。
事務局	すべて確定しています。
委員長	生涯活躍社会の実現については検討していただき、それ以外はこれで確定ということでしょうか。
委員一同	異議なし
	<p>(4) 答申案について (答申案について資料④-1 に基づき説明)</p>
委員長	答申案の内容について、委員の意見をお願いします。答申前の最後の会議となりますので、感想でも良いので一人ずつ声を聴きたいと思います。
委員	普段こういうことをあまり考えていませんでしたが、市民も協力していかなければいけないということがわかりました。

委員	<p>様々な意見を聴かせていただき、これまでこういうことに関わる機会が少なかったので勉強になりました。課題が長期化、複雑化しており、数字に一喜一憂するのではなく、将来を担う若い人を育てるため、この計画に沿ってやっていただけたらありがたいと思います。</p>
委員	<p>計画書はこれで答申となりますが、厳しい状況が続き、国際社会の状況も不透明だと思いますので、指標は毎年チェックし、見直しもできるところは提案していただいて、時代にふさわしい内容にしてもらえたらと思います。</p>
委員	<p>前回の計画から追加・変更した点を見ると、この6年間で社会が大きく変わったことがわかります。これからの5年、10年でも今までなかった視点が出てくると思います。計画は策定して終わりではなく、これが出発点となりますので上手に進めていければと思います。</p>
委員	<p>答申するにあたり行政だけの問題ではなく、市民の皆様にも意識して取り組んでもらった方が良いと思います。市民を巻き込みリーダーシップとして、行政が音頭を取り、行政だけ、企業だけ、住民団体だけにならず、一緒に良い方向に向かってほしいと思います。人口ビジョンの下方修正はネガティブに捉えられるかもしれませんが、実票を良くするためのポジティブな取組でもあると思います。</p>
委員	<p>人口減少についてはマイナス面で言われていましたが、メリットもあると思います。学校でもクラスの人数が少ないことでのメリットがあると思います。また、広い実票市を維持する費用が最低限必要になるとありますが、それができなくなると、企業のように工場を閉鎖するとか切っていく部分が出てくるのが心配です。人口が減っても豊かな地域社会をつくることは十分できます。マイナスだけ考えずに良いところも考えて、市民、職員をはじめ全員がもっと考えていけば明るいことがあると思います。</p>
委員	<p>実票市の5年後、10年後を考える大切な機会だと思い参加してきました。実票市の行く末を明るい感じで捉えることができました。</p>
委員	<p>自分自身に何ができるか考えさせられる会議でした。この計画やビジョンの内容について、住民ができるだけ把握して、志を持った人材が出てくることで、人口減少に対しても明るい兆しが見えてくると思いますので、この計画をいろいろな人に把握してもらいたいと思います。</p>

委員	<p>いろいろな意見を聴いて勉強になりました。住民が幸せでなければいけないと思いますので、声を聴きながら丁寧に進めていただきたいと思います。</p>
委員	<p>時代の移り変わりは早いため、計画は重要ですが、その時に応じた柔軟な対応も必要だと思います。計画は大変良くまとめられ、真摯に対応いただき、答申の文章も素晴らしいと思います。</p>
委員	<p>答申の内容に私たちの想いが書いてあると思います。これから難しい課題に直面する中で、まず市民に伝えるということが大切だと思います。明るい穴栗にできればと思います。</p>
委員長	<p>本日の議事は終了しました。そのほか事務局からありますか。</p>
事務局	<p>■その他 第 13 回穴栗市総合計画及び地域創生戦略委員会の開催日について 日時：令和 3 年 11 月 4 日（木）14 時 00 分～16 時 00 分 場所：市役所 4 階会議室、一宮市民協働センター、自宅等 WEB 参加 としていますが、パブリックコメントにて意見がなければ開催はしません。委員の皆様からは事務局に対してありがたい言葉をいただき、ありがとうございました。計画策定にあたり令和元年 10 月から委員長、副委員長、各委員にはご多忙の中ご参加、ご意見いただき、計画がまとまりました。コロナにより策定期間を延長し、オンライン開催など、ご負担・ご迷惑をかけたことが、ご協力いただき、答申できることとなりました。パブリックコメントを経て、12 月議会に上程する予定となっています。計画は策定をもって終了ではありませんので、計画に基づき事業実施・検証を行うことで、暮らしの安心・安全の確保、まちの活性化を図っていきます。職員はこれをテキストとして実践につなげ、市民、事業者にも伝わるよう取組を進めます。今日までのご尽力に感謝するとともに、今後のご協力をお願いします。</p>
副委員長	<p>答申案を確認いただき、後期基本計画及び地域創生総合戦略の案をまとめることができました。閉会にあたり、皆さんが感想で言われたことが、私が言いたかったことのすべてです。委員会の目的に沿って、活発な議論をいただき、それぞれの立場で貴重なご意見をいただきました。委員の皆様にお礼申し上げますとともに、コロナ禍でスケジュール調整や、委員意見を誠実に計画案に反映してもらいましたこと、事務局にもお礼申し上げます。パブリックコメント、議会上程という手続がありますが、その過程でも皆さんの意見を聴く機会があるかもしれませんので、その時にはご協力をお願いします。</p>

	<p>実現に向けてどうしていくか、計画に携わった委員の皆様には、実行の過程に関心を持っていただき、参画したり意見をいただいたり、ご協力をいただきたいと思います。2年間に渡りありがとうございました。これをもちまして本委員会を閉会させていただきます。</p>
--	---